|  |  |
| --- | --- |
| 体験型プログラム⑥（40～60分） | 学童期～思春期・読書教育 |
| **「好きな本年表」をつくろう** |
| 本プログラムのねらい |  | 期待される効果 |  |
| ◎「好きな本年表」づくりを通して、自分や我が子の成長を改めて実感することができる。○今後の本との関わり方について、親子で考える機会を持つことができる。 | ○本の良さや魅力について、子供とゆっくり話したいと願う保護者にとって、親子の成長を実感することができるようになる。 |
|  |
| 活動の様子 | 年表に従って、親と子が好きだった本を書き入れ、感想を交流する。 |
| http://kids.wanpug.com/illust/illust4180.pngよその家庭での親子の読書経験を聞くと、知らなかった本もあって、読んでみたくなったわ。うちの子が入学前に読んでいた本って、どんな本だったかな。自分が子供の頃に面白いと思って読んでいた本を、息子も夢中になって読んでいたなあ。http://kids.wanpug.com/illust/illust3491.pnghttp://kids.wanpug.com/illust/illust2058.png【準備物等】○ワークシート　※参加者の子供の年齢に合わせて修正しておく。 |
| 主な流れ |  |
| １　年表に従って、親の欄には親自身がその当時好きだった本を、子供の欄には子供自身が好きだった本を年代ごとに書き入れる。２　（３～４人グループで）参加者同士が作成した年表を見せ合いながら、親子で好きだった本などについて感想を交流する。　※お互いの紹介を聞いて、本についての質問などをして感想を交流する。３　（時間があれば）グループごとに、どのような感想を交流し合ったかを発表する。　※発表させる際、進行役は、「この本を読んだことのある方は？」など、発表内容を共感的　　　に聞くことができるような声かけをする。（４　家に帰って、「好きな本年表」をはさんで、子供と話し合う。）　 |
| 運営上の留意点 | http://kids.wanpug.com/illust/illust592.png連続講座での実施をおすすめします。 |
| 　連続講座であれば、事前に各家庭で相談しながら「好きな本年表」を作っておき、完成した年表を持ち寄って、「どんな会話をしながら作成したか」や「作ってみてどうだったか」などについて感想を交流し合うこともできます。 |